

エネルギー・化学・プラントの総合誌

● ジェティ

# JETI

Japan Energy & Technology Intelligence

Vol.60 No.4

# 2012 / 4

大成ファインケミカル

## 緊急時自動自家発電機を導入

大成ファインケミカルは昨年の東日本大震災の被災を機会に本社・工場の機能を維持できる自家発電機が2012年3月から稼働可能になると発表した。これにより、停電時でも事業所のほぼ全ての電力を供給できる。

同社はアクリル樹脂を主体にした合成樹脂メーカー。既存の自家発電機は製造工程における反応装置の攪拌機の電力を確保し、安全確保を目的として必要最小限の電力供給(182kW/h)を目的に、1996年に導入して

いた。しかし、昨年の震災で被災した本社・工場では震度6強の震災でも安全性を維持し、事業継続を可能なレベルまで水準を上げることを目標に“事業継続計画”の作成と活動を進めてきた。その一環として、総額約4,500万円をかけ、事業所で必要な電力を全てまかなえる自家発電機(480kW/h)を導入した。

2012年4月1日 緊急時自動自家発電機を導入 JETIに掲載